

令和6年度第4回京丹後市総合計画審議会 会議録

1 開催日時 令和6年12月5日(木)午後7時00分～午後9時00分

2 開催場所 京丹後市役所峰山庁舎 201～203会議室

3 出席者

<審議会委員>

杉岡 秀紀委員、池田 満委員、中村 俊彦委員、中川 正樹委員、山崎 高雄委員、
田茂井 勇人委員、平田 勝彦委員、西途 陽子委員、藤井 美枝子委員、今津 正史委員、
小谷 順一委員、角田 吉高委員、田中 良尚委員、上田 美知子委員、丸田 智代子委員、
味田 佳子委員、和田 直子委員、西原 肇委員、阿辻 凜太郎委員、谷 清子委員、
大槻 美穂子委員、岡本 竜保委員、上羽 柚夕委員、井藤 湊都委員

<アドバイザー> 村上 章アドバイザー、稲岡 克彦アドバイザー

<委員随行者> 室川 幸成氏

<事務局>

市長公室長 引野 雅文、課長補佐 井上 和也、主任 上田 雅也、主事 青木 滉人、渡利 大洋

欠席者

松宮 とも恵委員、吉岡 光義委員、川口 勝彦委員、岡本 美香委員、中村 心児委員、
大島 舞歌委員、(以上6名)

4 次第

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 会議録確認者の指名
- (4) 議題
 - ① 第3次京丹後市総合計画(案)について
 - ② 答申書(案)について
- (5) その他
- (6) 閉会

5 公開又は非公開の別 公開

6 傍聴人 1人

7 要旨 下記のとおり

会議録要旨

(1) 開会

(2) 会長挨拶

- ・ 本日は、これまでの審議会に出てきた意見を反映した最終案について、ご確認いただき最後の審議をいただきたい。
- ・ 総合計画がより良いものになるよう、意見の出し残しが無いようお願いしたい。

(3) 議事録署名人の指名

- 中村俊彦委員と、田中委員を指名

(4) 議題① 第3次京丹後市総合計画（案）について

- 「資料1 第3次京丹後市総合計画（案）」に基づき、事務局から説明

<委員>

- ・ 素晴らしい計画（案）を作っていた。その上で、3、4ページで濃い着色に黒文字の部分や、11・16ページの白抜き文字など読みづらい部分がまだ残っている。
- ・ 最終的に冊子にする際には、印刷会社と調整するのか。

<事務局>

- ・ 最終的には印刷会社と調整をしながら、色合いなども見やすくなるように工夫して、冊子を作ることになると思う。

<委員>

- ・ 41ページ以降の「私たち市民にできること」が、同一カラーの濃淡で背景と文字を記載しており、色によってはかなり見えづらい。
- ・ また、漢数字・算用数字やアルファベットの全角・半角が混同しているのが気になる。

<委員>

- ・ 若者回復率の推移について、1995年から2000年が43.9%で多くの若者が帰ってきているということだが、理由が分かるか。
- ・ もし分かるのであれば、理由を記載することで、より深く理解できるような気がする。

<事務局>

- ・ 分析をしている中で、若者回復率が市内だけの要因ではなくて、全国的な景気、労働環境などが影響しているのではないかと推測している。
- ・ 43.9%と一番高い1995年から2000年は就職氷河期とも言われており、全国的に雇用の状況が落ち込んだ時期であったため、地方に帰ろうと思う方が多かったのではないかと推測している。

- ・ 逆に、直近（2015年から2020年）の回復率が低いのは、割と景気が良い（求人が多い）時だったためではないかと推測している。
- ・ 最近、小中高と地域に愛着を持ってもらう教育や職業体験をより充実させ、地元で愛着を持っている若者の割合は増えていると思うが、若者回復率の数字としては表れていない。
- ・ この数字にも着目しながら今後の施策を進めていく必要がある。表記についても工夫していこうと思う。

<杉岡副会長>

- ・ 1995年から2000年に半分弱の方が帰ってきたというのは、就職氷河期という理由が多分一番大きいだろうと思う。
- ・ もう1つの要因として、95年に起きた阪神淡路大震災で地元に戻ろうという気持ちが高まったこともあるのではないかと。2011年の東日本大震災も同様に、地方回帰の動きがあったと思うが、京丹後から遠かったため、京丹後の若者回復率への影響は少なかったのではないかとと思われる。
- ・ 京都府北部の他市の若者回復率も京丹後と同じような状況で、京丹後市の2割というのも一般的には低い、もっと低い市町もある。
- ・ 福知山市だけは、異常に高い数字となっている。理由としては、大学、自衛隊、大きな工業団地があり、若者が出ていくよりも入ってくる人が多い。しかし、福知山で生まれた子たちはやはり1度は出ていっているため、京丹後の回復率とは単純比較できないと思われる。

<委員>

- ・ 3、4ページの体系図について、基本構想の目標7「誰もが幸福をますます実現できるまち」を達成するために、基本計画の施策26、27となっているが、関連づきにくいのではないかと。

<事務局>

- ・ 目標自体は、まちづくり基本条例で決まっている部分でもあり変更することは無いが、表現方法について再検討する。

<委員>

- ・ 47ページの「生涯学習」と「社会教育」の両方の言葉が混ざっているのでは、統一すべきではないか。
- ・ 各施策の現状・課題について、現状を書いて課題を書く方が読みやすいのではないかと。
- ・ 学校教育の施策のページで、「先生」「教員」という同義の言葉が表記されているので、統一すべきではないか。

<事務局>

- ・ 同義の言葉については、改めて確認を行い整理する。
- ・ 現状と課題について、現行の計画ではそれぞれ項目を分けて記載していたが、現状・課題が

紐づくように記載した方が読みやすいと思い、一体的に書いている。

<委員>

- ・ 31 ページで、本文中に無いデジタルポイントの画像が添付されているが、文章中に記載しないのであれば、画像も無くてもいいと思う。
- ・ 32 ページで、2025 年大阪・関西万博に積極的に連携すると記載があるが、4 年間の計画なので、万博を契機に今後どうしていくかといった書き方に修正した方が良い。
- ・ 27 ページの「学びの変革プロジェクト」について、PBL 教育（課題解決型教育）のことに ついて、力を入れていると思うので記載するべきではないか。

<事務局>

- ・ デジタルポイント、PBL 教育の記載については、担当課と調整する。
- ・ 万博についての記載も、万博以降のことも踏まえた記載に修正する。

<委員>

- ・ 4 つの基本戦略に記載している施策番号が前回と変更されているがどういう意図か。

<事務局>

- ・ 前回の会議から、まちづくりの施策を再度整理し統合・分離されたため、施策自体の番号が 変わっている。それに伴い、4 つの基本戦略に記載している番号も更新している。
- ・ 関連付けている施策自体は変わっていない。

<委員>

- ・ 家族が妊娠しているが、弥栄病院に産婦人科の医師がおらず、京都府北部医療センターまで 通うことになっており、安心して子育てできる環境というのは本当にそうかと感じている。

<事務局>

- ・ 27 ページに「目指せ。子育て環境日本一」の 1 番目に、「安心して生み育てられる子育て環 境を構築します。」と書いており、京都府との連携や医師の確保という問題もあると思う が、しっかりと受け止めたいと思う。

<杉岡副会長>

- ・ 補足だが、施策に書いてある順番というのはとても大事。1 番目に書いてあるものが、今回 の総合計画の一丁目一番地として、読み手に受け取られると思う。

<委員>

- ・ 防災について、近年大きな自然災害が多発しており、今年も輪島で大きな地震があった。
- ・ 震災により下敷きになる人が多く発生すると思うが、1 番最初に人命救助できるのは自衛隊 ではなく、地元の建設業者でありその機械が動けるかどうかというのが重要である。施策に

もあるように、災害時の応援協定締結団体を増やすというのも大事だが、BCP（業務継続計画）を策定していくべきではないか。

<委員>

- ・ 2 ページのところで、市長任期に合わせた4年間計画となっているが、計画を短期で見直すことは、「市長任期」と関係なく必要なことなので、あえて「市長任期」という言葉を入れなくてもよいのではないか

<委員>

- ・ 76 ページの目指す目標値が3つ記載されているが、障害者計画や障害者福祉計画では、もっと多くの目標値があったと思う。なぜ、この3つが目標として掲げられているのか。

<事務局>

- ・ 目指す目標値は、担当課の方で決めている。目標値記載の考え方として、今後4年間で現状、課題を受けて、取り組む施策とそれにふさわしい目標値を設定している。個別計画の中で多くの目標値があるかもしれないが、主要な3つを選んでいる。

<委員>

- ・ 13 ページについて、人口ビジョンの前文で「様々な取組を行い、その成果が十分に発揮されれば、この人口が実現される」とあるが、同様のことが15 ページ(3) 今後の展望にも書いてあり、重複している。あえて、そのような書き方にしているのか。

<事務局>

- ・ 人口ビジョンの構成をできるだけ抜粋するような形で記載していたが、重複している部分もあるため、整理する。

<杉岡副会長>

- ・ 13 ページのグラフの出典が抜けているので、記載しておくべき。

<味田副会長>

- ・ 総合計画に、まち・ひと・しごと創生総合戦略を統合するのだが、人口ビジョンは別立てで続けていかないといけないのか。総合計画に一本化してもいいのではないか。

<事務局>

- ・ 人口ビジョンは総合計画とは別で作成し、抜粋して総合計画に記載するイメージ。
- ・ 理由は、総合計画見直しのタイミングに限らず統計データが変更されたら都度、人口ビジョンを見直すため。

<村上アドバイザー>

- ・ 複数の意味で捉えられそうな言葉がいくつか記載されている。例えば26ページの「新たな公民連携」は新しい形の公民連携を進めていこうとしているのか、今の公民連携をさらに推進していくことなのかのかわかりにくい。
- ・ 読み手によって異なる捉え方にならないよう点検するべき。

<稲岡アドバイザー>

- ・ 委員からの意見にもあったように、良い形でまとまった計画ではないかと思う。
- ・ 計画は策定だけでなく実行されないと意味がないので、委員の方も主体的に施策を推進して行ってほしい。

(4) 議題② 答申書(案)について

- 「資料2 答申書(案)」に基づき、事務局から説明
 - ・ 質疑応答なし

(5) その他

- 「資料3 第3次京丹後市総合計画策定に係るスケジュール」に基づき、事務局から説明
 - ・ 質疑応答なし
- 「その他配布資料 「京丹後市まちづくり基本条例」一部改正についてのご意見の募集について」に基づき、事務局から説明
 - ・ 質疑応答なし

(6) 閉会

<副会長>

- ・ 4回の審議会を通して、自治と協働によるまちづくりを進めていけるような計画になった。
- ・ これからが本番なので、自治と協働で進めていけるよう、引き続きよろしくご協力をお願いしたい。